

会 議 録

1 会議名	平成20年度 第6回河内自治会議
2 開催日時	平成21年2月6日(金) 午後2時00分～午後3時30分
3 開催場所	河内地域自治センター 2階会議室
4 出席者	<p>【委員】 中村祐司(会長), 青木正子, 上山茂, 太田照男, 大田原加久司, 菊地久美子, 須藤誠一, 五月女勝正, 五月女純, 對馬博幸, 手塚米子, 永見幹夫, 西岡隆義, 日向トモエ, 前野巖, 松谷悦広, 森本喜美子</p> <p>【事務局】 河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域経営課主幹, ほか7名</p>
5 公開・非公開	公 開
6 傍聴者数	【傍聴者】 1名
7 会議経過	(1) 開 会 (2) 協議事項 ・まちづくりに関する施策の提案について (3) その他 (4) 閉 会

1 開 会

事務局	<p>ただいまから平成20年度第6回宇都宮市河内自治会議を開会させていただきます。本日は、3人が欠席のため、出席は17人となっており、委員数の過半数に達していますことから、会議が成立することを報告します。</p> <p>それではこの後は、会長にごあいさつをいただき、その後、議題に沿って進行をお願いいたします。</p>
会 長	<p>みなさん、こんにちは。前回は12月中旬に第5回会議が開かれまして、部会でのご意見を参考にさせていただきながら、提案に向けた方向性が見えてきたところです。早くも2ヶ月近く経って、第6回会議ですが、いよいよ今日は、私たちが行ってきたことの集大成というか、成果を提案として取りまとめていきたいと思いますので、ご意見をよろしくお願いします。</p>

2 協議事項

(1) まちづくりに関する施策の提案について

会 長	<p>それでは、早速ですが、地域のまちづくりについての施策の提案ということで、今日は意見をいただきながら、議論を進めていきたいと思います。</p> <p>前は、各部会からの原案を協議して、柱立てとというか、テーマを決めたところ。前のご意見を基に事務局に提案書の素案を作成していただき、事前に部会長さん方にも見ていただくとともに、私も一文一文検討して、今回の提案書の素案としてお示しするものができましたので、今回はその内容について協議していきたいと思います。</p> <p>それでは、資料について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料1のうち、「はじめに」と「提案にあたって」の部分について説明)</p>
会 長	<p>前回の会議では、提案のイメージのうち一番右側の部分にある「水資源の保全」から「国際理解教育の強化」という柱立てのところを決めたところ。ただ、これらの個別の事項から提案にいきなり入るということは好ましくないため、つなぎとなる部分を大きく設定する必要があることから、合併市町村基本計画の中の表現を活用して左側の大きな目標を掲げ、また、抽象的になりますが、真ん中の2本の柱を導き出したところ。</p> <p>ただ今説明がありました「はじめに」と「提案にあたって」の部分ですが、何かご意見はありますか。おそらく問題となるのは、具体的なことについての表現の仕方が中心になると思われます。</p>
委 員	<p>文化財の活用については入っていますが、前回の提案の中にあつた生涯学習センターの強化とか、文化的な事業や学習について入れることはできないのでしょうか。</p>
会 長	<p>タイトルに入れたいということでしょうか。</p>
委 員	<p>スポーツ環境の整備という項目がありますが、スポーツのところに「スポーツ・文化」と入れることはできないのかなと思います。あまり文化活動については入っていないと感じます。</p>
会 長	<p>前回の議論では部会提案のタイトルは文化についてでしたが、内容は文化財に絞って提案するという協議がなされてきたと思っています。文化そのものについて無くてもいいということではありませんが、内容には盛り込まれていると思います。</p>
委 員	<p>会長がおっしゃるような議論だったと思いますが、あまりにも文化という言葉が少ないので、入れてはどうかと感じました。あとで考えていただければ結</p>

	構です。
会 長	<p>それでは、進めていく中で考えていきましょう。他には何かありますでしょうか。</p> <p>それでは、先ほどのご指摘は、後でも関連してきますので、また皆さんにお聞きしたいと思います。</p> <p>次に、提案の部分について説明してもらいますが、本文が長くなりますので、先ほどの二つの柱に分けて議論したいと思います。はじめに一つ目の柱について説明していただき、一旦そこで切って協議したいと思いますので、事務局から資料を説明してください。</p>
事務局	(「提案」のうち「健康で明るく暮らせるまちの創造」の部分について説明)
会 長	<p>前半の部分の説明をしていただきました。あくまでもポイントは、この提案になりますが、そのテーマについては前回絞り込んで、皆さまの合意をいただいたところですが、中身については、大きく表現する必要があるということです。前回の提案を土台にしてこのように書かれています。</p> <p>この部分については、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>スポーツ環境の整備の部分ですが、ちょっと表現が弱いかなと思っています。ここでは、大きく二つのことが書かれています。一つ目は予約が取りにくいということで、そのために各種運動施設の充実ということで結んでいますが、もう少し踏み込んではいかがでしょうか。予約が取りにくいということと各種運動施設の充実だけでは、問題点があまり出てこないような気がします。利用者数に比べて不足している施設の新設や増設の必要性を感じていますが、それを具体的に表現していただきたいと思っています。</p>
会 長	この点については他の方はいかがでしょうか。予約が取りにくい問題点と施設の充実を課題としてあげていますが。
委 員	<p>予約が取りにくい原因の一つは設備不足が挙げられると思います。特に河内地区では、利用者が多いスポーツの設備が少なく、利用者が少ないスポーツほど施設が多いという逆転現象が起きています。運動公園に多目的広場ができませんが、昨年より指摘しているとおりに、県のグリーンパーク白沢では土日といえども3分の1程度しか埋まっていませんので、それと同じものを作ってどうなるのかという気がします。フットサルやテニスについては、希望者の3分の1程度の人しか予約ができない状況ですので、不足している施設の増設や新設ということをできるだけ表に出したいと思っています。</p>
委 員	今回の素案は、全体的に抽象的な表現としています。私たちが訴えている内

	<p>容を提案として提出すると、市長が関係部門を集めて、このようなことをしないといけないという流れになるのだと思います。今の意見のように細かいことも入れていかなければいけないと思いますが、私たちが取り組んできたことが抽象的なものとして入っていますので、これらをどのような形で提案するのかということが問題だと思います。</p>
会 長	<p>我々の提案が担当課へ渡されるのでしようが、今のようなご意見がまったく反映されないということではなくて、自治会議の意見を補足説明する場があるのですよね。</p>
事務局	<p>ただ今のような、どのスポーツが足りないとかを具体的に入れるなど、提案書の表現の仕方は、いろいろとありますが、自治会議の提案は今回初めてですので、この提案書をどのように作っていくのかということも、今までも手探りをしているのが実情です。ただ、市の附属機関として提案するという事は、総合計画などで市が目指している方向に沿った提案をしていくべきものですので、この方向とまったく違った提案をすることは附属機関としてなじまないと考えています。今後、提案書を担当課へ投げかけるわけですが、担当課が事業を進めようとしている方向に対して、今回の提案がどのような位置になるのかということを決めていきますが、今後、担当課との事業のすりあわせをする中で、提案書の表現が変わっていくこともあることを委員の皆さまにもご了解いただきたいと思います。</p> <p>また、今後の進め方の中で、この柱立てや表現の仕方は、このままで良いのかどうか、上河内センターや本庁の地区行政課を交えて調整していく必要があると考えています。今回は、このような素案となりましたが、例えば、地域の役割であるとか協働の部分とかを取り込むべきなのかなど、今回はそのようなことが盛り込まれていませんので、まだ検討が十分でないと感じています。</p> <p>具体的な事務事業については、提案書に盛り込まなくても、担当課が実施する中で当然検討されるものであろうという含みを持たせて、大きく施策というレベルで提案していただきたいと思います。</p>
会 長	<p>宇都宮市の施策の方向性がありますから、残念ながら旧河内町という自治体は、今は39地区の一つになったということで、多少は軟らかな表現にならざるを得ないと私も考えています。</p>
委 員	<p>どのスポーツをと、それほど言っているわけではありません。この中でのポイントは、予約がとりにくいということだと思います。その結論を各種運動施設の充実と締めくくっていますが、もう少し踏み込んだ形で、この地区で不足している運動施設の充実、というような表現で、問題点をもう少し浮き立たせた方が良いのではないかと思います。トレーニングジムなども同じことが言えますが、トレーニングジムという言葉を入れなくても、不足している施設と言う</p>

	<p>ことで含むことができます。この言葉だけでは、運動公園を作って終わりということになる可能性があります。</p>
会 長	<p>今は不足していないけれども、更に充実させるということも含んでいるのですが、ここの表現をいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>基本的なこととして、自治会議では、施策の提案をするということですから、各委員さんの思いをどのように表現するかということを経理局ではかなり苦労しました。この施策というものと具体的な事業というものが少し違うということをなかなか理解しにくいのではないかと思います。</p> <p>私たち事務局では各種問題等を見ながら、施策という大きな部分を市へ投げかけ、市の各課では、問題となった部分について、どのような事業をすればそれを解消できるかという立場で受け止めることになります。つまり、施策として施設の充実という提案をすると、担当課では、河内の中ではどのようなものがどの程度足りないかということを検討していくことになります。</p> <p>私たち事務局もこの提案を提出するだけで終わるとは思いませんので、提案書を提出すると同時に、会議や部会の中では、このような話題が出ました、このようなことが問題となっていますということを経理担当課へつないでいきたいと思っています。今までの中では、例えばスポーツの場合では、テニスコートやフットサル、トレーニングジムという具体的な話題が出ましたが、それを明記してしまうと事業の提案になってしまいます。皆さんの思いというものは、これとは別の形で担当課につないでいきたいと思っていますが、提案書自体は広がった書き方にならざるを得ないことをご理解いただきたいと思います。</p>
会 長	<p>出して終わりということだけでなく、施策レベルの大きな表現で渡して、実現するためにどうするかということになったときに、具体的な事業の考えをつないでいくということですね。提案書の性格の問題でもあるのですが、そういうことであれば今までの議論が生きてくることになります。</p> <p>今の点は、よろしいでしょうか。</p> <p>はい、ありがとうございます。他には、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>提案2の四角に囲まれた最後の部分ですが、「安全で豊かな食生活を持つ住宅地域」と書かれているのですが、この「持つ」という言葉がどういう意味になるのか分かりません。</p>
会 長	<p>表現が分かりにくいということですね。</p>
事務局	<p>表現を検討して、分かりやすい文章にしていきたいと思っています。この後もしご意見をいただいて、修正する必要があるあれば直していきたいと思っています。</p>
会 長	<p>表現を直して、次回確認していただくということですね。私はこの場で直し</p>

	<p>て、皆さんの了解をいただいて固めていこうかと思っていました。それでは、事務局に表現を検討していただいて、皆さんに確認していただくようにしましょう。他にはいかがですか。</p>
委 員	<p>先ほど文化を入れてはどうかという意見を出しましたが、これはスポーツのことなので取り消します。</p>
会 長	<p>分かりました。ありがとうございました。 それでは、次に二つ目の柱について説明してください。</p>
事務局	<p>(「提案」のうち「時代を築く人材の育成」の部分について説明)</p>
会 長	<p>ただ今の「時代を築く人材の育成」の部分については、いかがでしょうか。 ここも前回の会議の提案に基づくような形になりますが、提案の課題や説明を囲みの中で述べるようなものとしています。皆さま方の前回の提案を反映させるような形になっていますでしょうか。</p>
委 員	<p>(特に意見なし)</p>
会 長	<p>ありがとうございます。それでは、「おわりに」の部分について説明をしてください。</p>
事務局	<p>(「おわりに」、「本提案に関する審議の経緯」、名簿の部分について説明)</p>
会 長	<p>それでは、「おわりに」の部分について、ご意見はございますか。 特に最後の段落の書き出しの部分で、4つの部会を設置し1年間検討したと明示したところが大きいと思います。また、2段落目中ごろのあたりもいかがでしょうか。いろいろな課題が残ったかもしれませんが、地域自らが考え行動するという事です。合併前には無かったとは言いませんが、今回胸を張ってこのようなことを指摘できるようになったのではないのでしょうか。 「おわりに」のところは大丈夫でしょうか。</p>
委 員	<p>(特に意見なし)</p>
会 長	<p>ありがとうございます。 部会のことは、ページの半分ほどで日にちしか書いていませんが、これだけ積み重ねてきたことは、とてもすごいことだと思います。これがひとつの凝縮された形として、今日の案として出ましたし、同時に共同作業として、行政の内部でのすり合わせをして、表現を膨らませて、今回の提案とさせていただいたところです。それでは、もう一度、全般的にご意見はありませんか。</p>

委員	<p>なかなか都合が合わずに会議に出られなかったのですが、ただ、今までの会議録を読ませていただいている、大変すばらしいと思っています。</p> <p>「おわりに」の最後の部分に「宇都宮市の均衡ある発展につながる」と書いてありますが、この「均衡ある」ということは、どういう意味なのかを説明していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>河内自治会議の提案が、ここだけの施策や事業に発展するのではなく、それが市全域に広がって行って、同じように発展をしていく一助になればという意味を込めて「均衡ある」と表現しています。</p>
委員	<p>河内地区は独自の施策があるから、この会議があるのだと私は思います。ですから、河内は河内だけの特色ある施策が展開されても良いのではないのでしょうか。他と同じということであれば、市でこうしますと決めてしまえばいいということになってしまいます。「均衡ある」ではなく、反映されて河内地区の特色となる発展につながるということなら分かりますが、均衡では、みんな同じですねということになってしまうと思います。</p>
会長	<p>合併によって自治体としては河内町が無くなって、宇都宮市の一地区となったわけです。でも、そうであるからこそ、宇都宮市全体の施策の向上につながる案を我々が検討しているわけです。確かに、ご意見はそのとおりだと思いますが、常に宇都宮市全体を見据えて、そこにつながるような提案をするということで、これまで進めてきたことになります。</p>
委員	<p>「均衡ある」という表現を変えた方が良いと思います。河内地区の施策が他の地区にも取り入れられるという表現になると思います。</p>
会長	<p>私のイメージは、本来は、河内モデルを打ち出して、他の地区も従ってもらおうという意味になるのですが、ちょっとやわらかく表現したようになります。</p>
事務局	<p>「はじめに」の中に、「地域の特性を伸ばしていく必要があります」と表現しているように、良いものを止めて同じレベルにするということではなく、地域の良いところを伸ばして、その良いところが他の地区にも広がっていければよいという意味での「均衡」と考えています。</p>
委員	<p>そういう意味であれば、「均衡」という言葉が出てくるのは理解に苦しみます。「はじめに」の部分で言っていることは分かりますが、最後に「均衡」となると、宇都宮市のどこの地区も同じというイメージになってしまいます。</p>
事務局	<p>行政として、この地区で行われている良いことは、他の地区でも取り入れていきたいと思いますという意味なのですが。</p>

委員	<p>そうであれば、「均衡」という表現にはならないと思います。</p>
委員	<p>今のお話を聞いていて、「均衡」という言葉の解釈が違っているから、話し がずれているのではないかと感じました。最後のところは、行政の立場から考 えて「均衡ある」と表現しているのではないのでしょうか。そもそも、この提案 書は河内地区の自治会議が市長へお願いするものですので、この部分は、自治 会議の立場に視点を置いて、宇都宮市の均衡ある発展ということを私たちが捉 えるかどうか、それを市長へ訴えるかどうかということなのだと思います。す ばらしい文章を作っていただきましたが、その立場の違いで文章の違いが出て いるのではないのでしょうか。これは、自治会議の立場からの文章なので、行政 の観点から捉えるのではない文章にした方が良いのではないのでしょうか。私た ちが疑問に思う言葉を使うことは避け、違う表現に変えた方が良くと思います。 それから、この提案は、市長へ提案するのですから、すぐにイメージが分か る言葉を使った方がよいと思います。国際教育のところは、何人とか何校とか、 細かく具体的に表現していますし、ディーゼル燃料を精製しているという話も 大変具体的に書いてあります。ですから、スポーツ施設の充実についても、こ のような施設が不足しているとか、こんなことに困っているとか、たとえばと いうことで具体的なことを盛り込めれば良いと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。先の委員のご発言に関連して、2点のご指摘をい ただきました。 もちろん私も均衡ある発展という言葉に固執しているわけではありません。 ご指摘のとおり、この言葉だけ見ると、均衡ある発展とは何かということにな りますが、この提案自体が河内地区の自治会議の提案ということでありまして、 また、他の文章を合わせて最後のところを読むと、私たちが検討してきたもの が、河内地区から宇都宮に向けて、いわば上へのベクトルとして提案している 流れとなっています。私がこれを素直に読むと、宇都宮市の均衡ある発展とは、 河内地区ですることをここで終わらせるのではなく、全体を見据えて宇都宮市 全体の発展につなげてほしいと読めます。これは私の解釈ですので、間違っ ているかもしれませんが、自治会議の存在と文章の流れを見ると、この表現で間 違ってないと思うのですが、他の方はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>私は、施策が反映されることによって、これが宇都宮市の均衡ある発展につ ながるという表現の方が良いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>それぞれの地区には特色がありますので、みんな同じになるということでは ないと思います。河内地区は河内地区の特色があって、このようなまちになっ ていますので、他の地区も同じようなことをするというではないと思いま す。そういうことで、均衡という表現はいかがなものですか、と提案したわけ です。</p>

会 長	<p>均衡の解釈になりますね。河内では、子どもたちを大切にしたり、農業や自然に親しんだり、文化財もあるという特徴があります。ある他の地区では全然自然が無いけども他のものがあるって、それぞれ個性があるって、ある施策だけ見ると、場所によって有利不利があるかもしれませんが、全体として宇都宮市が良くなるということになるのではないのでしょうか。それぞれの地区は、歴史や風土が違うのですが、宇都宮市の全体の発展をとということなのです。</p> <p>均衡あるという言葉を入れることによって、地区から宇都宮市へ発する提案ということを出したいと考えますので、先ほどの施策に反映されることによってという表現でいかがでしょうか。それとも、「均衡ある」を取りましょうか。</p>
事務局	<p>今回、施策の提案をするわけですが、この自治会議があるのは、宇都宮市の中でも河内と上河内だけですので、当然他の地域にはありません。皆さん河内地区を前提に考えられており、それは正しいと思います。</p> <p>今回は6つの提案がありますが、この中には文化財やALTなどのように、河内だけに限った課題ではないものもあります。私どもとしては、市へ投げかけた際に、河内ではこう考えているようだが、他の地区はどうなのか、同じ状況なのかどうかと市で考えていただき、河内からの提案がきっかけになって、宇都宮市の全地区の見直しに発展していければ、自治会議の大きな存在意義になると考えます。</p> <p>そこで、最後のまとめかたですが、単に宇都宮市の均等と表現するのではなく、河内の特色を生かしたまちづくりを進めていき、今回の提案がそれだけで終わることなく、宇都宮市全体にも発展して良くなったらいというように、二段構えで記述した方が分かりやすいのではないかと思います。</p>
会 長	<p>それでは、皆さんの意見の趣旨を受けて、そのような文案を作っていただくということでよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>(特に意見なし)</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それから、スポーツ施設のところの表現のことですが、事業の進み具合とか、状況によって、囲ってあるところの表現の違いは致し方ないと思っています。運動公園の整備は、以前から施設の計画が進められていることでもありますので、ご指摘はそのとおりなのですが、書きにくいところもあるかと思いますので、このような表現でギリギリかと思っています。もう少し書き込んだ方が良いということですか。例えばどのようなことですか。</p>
委 員	<p>各種運動施設の充実のところへ、例えばということでトレーニングジムの不足や老朽化ということを入れれば、河内地区ではこのようなことに困っているということが分かりやすいと思います。前回の部会の提案では、そのような課題が具体的に出ていましたので、施設ということでもくくらずに、他提案と同じ</p>

	<p>ように具体的なことを入れた方が分かりやすいと思います。</p>
会 長	<p>トレーニングジムの不足や老朽化の解消ということでしょうか。なぜトレーニングジムだけかということの説明できればよいのですが、他にも足りないものは山ほどあるのではないのでしょうか。</p>
委 員	<p>前回の話題ではそのような話しが出ていましたので、例えばということで、などという言葉を使って具体例を入れてはどうでしょうか。</p>
委 員	<p>スポーツ環境を更に整備する必要があるということの中に含んであるのではないのでしょうか。全体を考えるとスポーツジムだけではないと思います。個別に言ってしまうと、それになってしまいます。</p>
事務局	<p>そのことについても文章作成に悩ましいところなのです。以前もお話ししましたが、個別のピンポイントで提案を出してしまうと事業の要望になってしまいます。提案したことについて、どうしたら直せるのかを担当課に考えてもらうのが施策の提案です。例としてトレーニングジムとかテニスコートとか書くと分かりやすいのですが、この文章に書いてしまうと要望になってしまいます。本来事業を考えるのは行政の仕事ですので、部会や会議では具体的にこのような問題が話題に上っていたということを担当課へ伝えていって、各種の事業計画の見直しにつなげていけば最良なのだと思います。ですから、提案に明文化するのではなく、委員さん方の意見を別の形で伝えていきたいと考えています。</p>
会 長	<p>ずばり言ってしまうとなかなか難しいので、これをぶつけておいて、その後も動くということですね。テニス場やフットサル、トレーニングジムや体育館の老朽化以外にもいろいろと出てくることもあると思いますので、ここは各種運動施設と表現してはどうでしょうか。他の委員はいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>良いのではないのでしょうか。</p>
会 長	<p>先ほども説明がありましたように、提案を出した後の調整の中で、皆さんの具体的な提案を事務局が伝えていくという形で進めていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは確認しますが、今回は、ただ今の2点について、事務局で文章を作成していただきたいと思います。一つは、提案2の農業経営の改善の「食生活を持つ」という部分について、農業地域と住宅地域のバランスという趣旨は変えずに表現の案を出していただくこと。もう一つは、「均衡ある発展」のところについて、河内地区をより良くしようという提案があって、それが宇都宮市全体に広がっていくという趣旨を踏まえた文章を作っていただいて、次回皆さまに案としてお示ししたいと思います。ありがとうございました。</p>

4 その他

会 長	それでは、その他になりますか、委員の皆さんから連絡事項などはありますか。
委 員	(発言なし)
会 長	それでは、事務局から連絡事項はありますか。
事務局	<p>それでは、今後の予定をご連絡します。</p> <p>今回の会議でほぼ出来上がったということで、若干の文章の変更を検討させていただくとともに、タイトルが決まっていますので、提案のイメージの内容を活用して、次回提案させていただきます。それでよろしければ、決定することとなります。改めてご連絡しますが、日程は、2月24日の午後2時から河内地域自治センターで開催しますので、よろしくお願いいたします。次回の会議で確定させ、3月には市へ提案する予定です。</p> <p>また、3月には最終回となる第8回会議を予定していますが、その際にはこれまでご議論いただいた合併市町村基本計画の12事業が来年度以降にどのように考えているのかなどについてご説明したいと思います。また、次年度に引き継ぐためにも、会議の運営や委員さんの思いというものについて、皆さま方から一言ずつ感想や思いを出していただいて、自治会議を締めたいと思います。</p>
会 長	<p>次回は2月24日ですが、早いもので、その次が最終回ということになります。</p> <p>今日は、ご議論をありがとうございました。提案書の姿がほぼ完成してきました。全国的に見ても形だけの会議をしているところも多い中で、私たちの部会の積み重ねの中で作られたものは、本当に良いものができたと思えることができると思っていますし、また、このことは、今後の河内自治会議の基礎を作りあげたと思います。書いたものを見るのは簡単ですが、実際に作るのは大変なことだと思います。完成間近というところまでできましたが、これも皆さま方のおかげだと思っております。</p> <p>それでは、以上で本日の会議を終了させていただきます。次回もよろしくお願いいたします。皆さん、お疲れさまでした。</p>